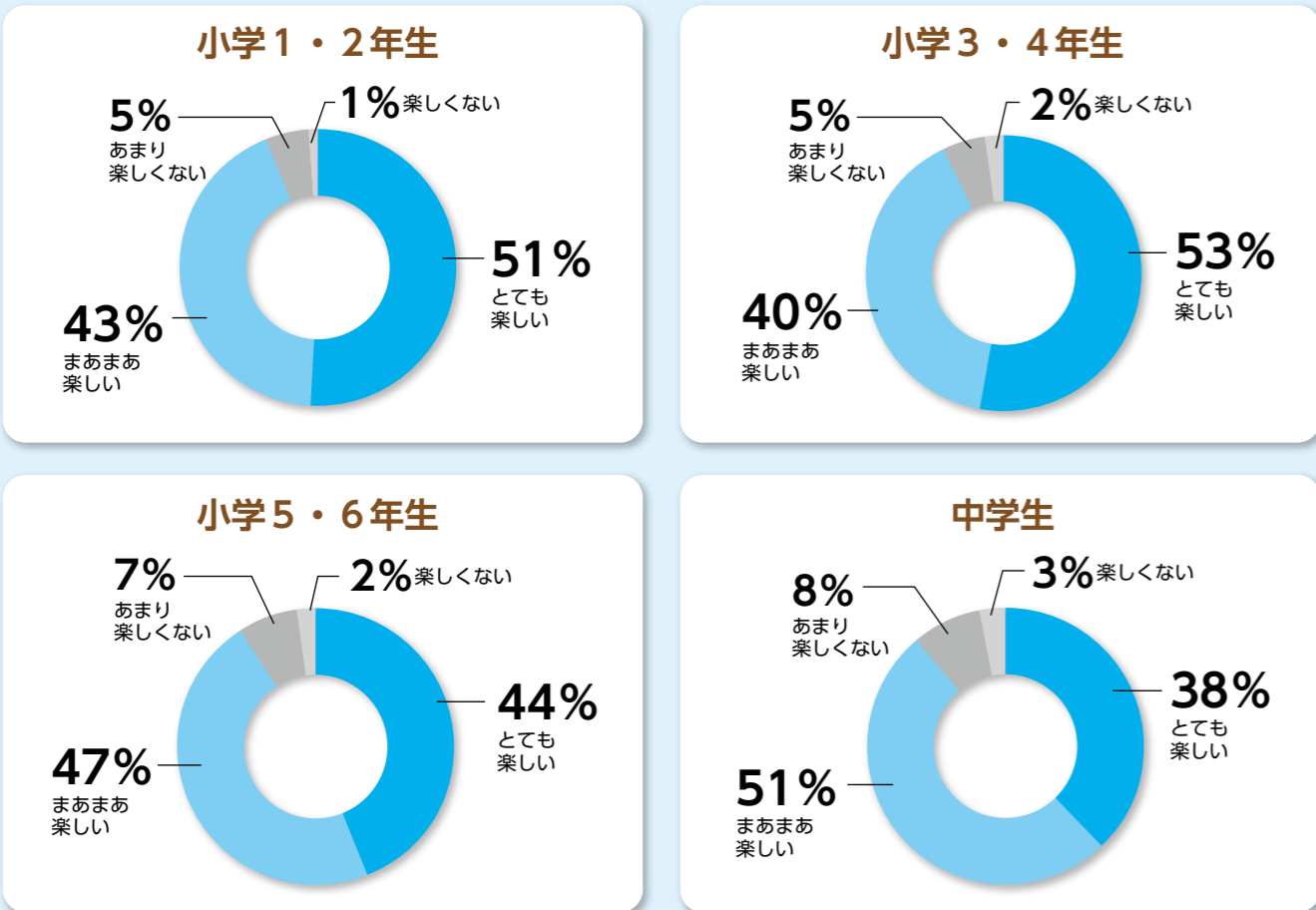


基本的生活習慣調査

うるま市教育委員会では、令和3年7月、市立の小中学校に通う児童生徒の生活習慣に関するアンケートを行いました。今回の調査は、学力向上の観点から子ども達の生活習慣における課題を明確にし、学力の向上を図るための資料とすることを目的としています。調査項目は小学校1・2年生 14項目、3・4年生 19項目、5・6年生と中学生は 22項目あり、その中から今回は「学校生活は楽しいですか」との項目に関する調査結果をご紹介します。

※調査結果の割合は、調査に回答した児童生徒数で算出しています。従って、調査期間中に何らかの理由で調査に回答できなかった場合は、この割合には含まれておりません。

Q. 学校生活は楽しいですか？



コロナ禍で子ども達を取りまく学習環境は大きく変わっています。令和3年度1回目の調査では「学校生活は楽しいですか」という質問に対して「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校1・2年生で **94%**、3・4年生で **93%**、5・6年生で **91%**、中学生で **89%**となっており、約9割の児童生徒が、学校生活が楽しいと感じていますが、高学年になるに従い、その割合は減少しています。また、「とても楽しい」と回答した児童生徒の割合は、小学校1～4年生までは半数を超えていますが、一方で小学校5年生から中学生にかけては、その割合は半数を下回っています。

うるま市教育委員会としては、今回の子ども達の回答を踏まえ、学校が子ども達にとってもっと楽しい場所になるよう、現状分析を行い、学校と一丸となって改善に努めてまいります。



学校を
もっと楽しい場所に！

コロナ禍でも楽しく豊かな学びを！

基本的生活習慣調査 結果（概要）

